

茶話会 / 夜座 / 除夜元旦会 / 報恩講 等ご報告、研修会 / 永代経 / 夜座 / 彼岸会 / 総会 等ご案内

やってきたばかりのはずの1月は、瞬く間に走り去って、気づけば境内に梅の花が咲いています。

12月、四ヶ中尾のみなさまによって竹藪清掃とお磨きが行われました。剪定にお力添えくださった方もあり、ピカピカ、すっきりとした年末年始、お蔭様です。恒例の茶話会「喫茶去・明行寺」では「倉永ひまわりの会」のみなさまによる大正琴の演奏と、体験。楽しいひと時となりました。夜の演奏会をご縁としたご法座「なんもない夜座#2」では、クラシックピアノの連弾と、サクソによるコンテポラリー音楽の演奏があり、電気を通さずに聴く音楽とご本堂が響きあう様が興味深い時間となりました。除夜・元旦会では一昨年から引き続き「竹と瓢箪の灯り展」を開催、書き初めや粕汁のおふるまいもあり、100名近い方がお参りくださいました。1月の御正忌報恩講につきましては、裏面にて詳細をご確認くださいませ。

さて、2・3月の明行寺は例年にも増して行事が目白押しです。2月、下川東組の行事である仏教壮年研修会の会処となっており、山口県宇部市安楽寺から金安ちづる住職をお迎えしてご自坊でのお取り組みを中心にお話をお聞きします。永代経法要ではお馴染み、山鹿市常法寺から佐々木高彰住職がお取次をくださり久々に夜座もごぞいます。「なんもない夜座#3 ミャンマー音楽の謎めいた世界へ」と題したご法座では、作曲家の村上巨樹さん、ピアニストの河合拓始さんによるお話と実演を予定、ご興味のある方はお問い合わせください。春季彼岸会では糸島市海徳寺の松月英淳師が、ご法話くださいます。茶話会ではアートやお茶のワークショップがごぞいますので詳細は別紙にてご確認ください。3月には、展示企画「てとてのお寺deアート展」も予定。蓮華の会、門徒会それぞれ総会もごぞいます。毎年の会費の使途、決算報告はご門徒方ご自身のお財布のことで、しっかりご確認くださいませようお願い申し上げます。

年度末にあわせ、季節の変わり目でもあります。何卒ご自愛くださいませ。



お磨き&境内清掃 感謝!



茶話会で大正琴の演奏会



お堂でクラシックピアノ



除夜会のご本堂でまったり

[2~3月の行事予定]

- 2月 3日(土) 13時半~ 仏教壮年研修会 @明行寺 ※どなたさまもぜひ
- 2月 5日(月) 16時~ 第5回本堂大屋根改修委員会 @明行寺 ※対象は改修委員のみなさまです
- 2月 9日(金) 13時~ 蓮華の会決算総会事前確認会議 @明行寺 ※蓮華の会役員・アドバイザー方、よろしくお願いいたします
- 2月 14日(水) 13時半~/19時~ 永代経法要 @明行寺 ※お賄い地域: 下伍位軒・川床、8時半~
- 2月 16日(金) 18時半~ なんもない夜座 #3 「ミャンマー音楽の謎めいた世界へ」 @明行寺 ※事前予約制・どなたさまもぜひ
- 2月 17日(土) 10時~ 御消息披露法要・蠟燭講総代会議 @浄光寺 ※門徒会長と坊守がお参り予定、どなたさまもぜひ一緒に
- 2月 21日(水) 14時~ お取り寄せスイーツ茶話会「喫茶去・明行寺」vol.25 @明行寺 ※お申込期限: 2/18(日)
- 3月 1日(木) 13時~/2日(金) 10時~ 御口ウソク講追悼法要 @勝萬寺 ※役員方のほか、対象の方にご案内申し上げます
- 3月 6日(木) 13時半~ 門徒決算総会事前確認会議 @明行寺 ※門徒会役員方、よろしくお願いいたします
- 3月 14日(木) 12時~ 蓮華の会会費収納会 @明行寺 ※蓮華の会役員・地域の世話役方、よろしくお願いいたします
- 13時半~ 春季彼岸会・蓮華の会決算総会 @明行寺 ※蓮華の会のみなさまはぜひお参りください
- 3月 14日(木) - 31日(日) 12~18時 てとてのアトリエ作品展「てとてのお寺deアート展」@明行寺
- 3月 17日(日) 14時~ お取り寄せスイーツ茶話会「喫茶去・明行寺」vol.26 @明行寺 ※お申込期限: 3/10(日)
- 3月 28日(木) 15時~ 門徒総会 @明行寺 ※門徒会・蓮華の会役員方、アドバイザー、講中方、あとさん講希望者の方、お世話になります

[住職の出張予定] 2/25 お取次 @芳澤寺 (八女市)、2/11 お取次 @永正寺 (柳川市)、2/27・28 御法事 @副住職実家 (岡山市)、3/18・19 お取次 @安楽寺 (飯塚市)、3/23 お取次 @蓮心寺 (大牟田市)、3/26 全体会議 @福岡教堂 (福岡市)

4年ぶりの御齋！親鸞聖人の御遺徳を偲ぶ「御正忌報恩講」



1月16日は、親鸞聖人のご命日です。例年、お取越し(日を変更して自宅で報恩講を催す)や、お寺で御正忌のご法座をお勤めしています。

お蔭様で、本年も無事にご縁に遇うことができました。あらためて、御礼申し上げます。今回はお勤めの前にお食事をみんなでいただく御齋の席を、4年ぶりにご用意することができました。北関、飛ヶ塚、中原、中尾、四ヶ中原の蓮華の会お一人おひとりの手による目にも舌にも美しい精進料理。手間も時間も掛けて調べて



くださり、有難うございます。御講師の小山坦道師(糸島市教念寺)は、蓮華の会の賑やかな様子がお寺の支えであると、およろこびくださいました。前住職と親交の深かった御講師です。「自分の力で生きて、死んだら終わり。神も仏も関係ない」と思いあがっているこの私こそが南無阿弥陀仏のめあてだと、ときにユーモラスに、ときに厳しくお示しくださることでした。御満座(御法座の最終日)には、恒例の御華束を解いてパック詰める腕力も人手も必要な作業があります。色つきのお餅を不思議に思われたことがある方もいらっしゃるかもしれません。今年は上伍位軒のみなさまの手から生まれたおよそ二千個の丸餅がお供えされ、法要後におさがりとしてお配りされています。報恩講のお供え



である御鉢米料のご準備や、事前の境内竹藪清掃、幕張り、旗立て、御華束作りにお賄いと、本当にたくさんの手によって実現される、尊く有難いご縁です。 合掌



コラム

「寝たふりを している亭主に 灸をすえ」・・・1/3

十年目のプロポーズ

ある日の座談会でのこと、一人の男性が結婚十年目の元旦にあらためて妻にプロポーズをしたことを話してくれました。「へえ、照れずにそんなことをする人もいるんだ。さぞ奥さんは嬉しかっただろうな」と思いながら、話の続きを聞きました。すると妻からの返事は、「あなたとの結婚は失敗でした。あなたは私を便利屋のように使っていますね」というものだったという。彼は相当ショックを受けたそうだ。思い返してみれば、妻は結婚生活での苦しい胸の内を時々話してくれていた。しかし、そのうちに「また、グチか」と思うようになり、真剣に妻の声を聞いてこなかった。その場限りでお茶を濁してやり過ごしてきた。日々の雑事である家事を「女の仕事」として、自分は何もやってこなかった。自分は両親の後姿を見て育った。家事の全ては母がやり、父は家の中のことは何もしなかった。「便利屋のように」という妻の言葉が胸に響いた男性は、それからはよく「ありがとう」と声をかけるようになったという。でも、妻はこう応える。「いくら、ありがとうと言ってもだめですよ。あなたの根性はわかっていますから」。そう、自分にとって都合の良いことをしてくれたから「ありがとう」なのだ。それを妻には見破られている。

今回のカルタの句は「寝たふりを している亭主に 灸をすえ」です。絵には聞く耳をもたず、狸寝入りをしている夫が描かれています。一緒に暮らしていてもお互いに心が通じ合うのはとても難しいことだと思います。いえ、一緒に暮らしているからこそ、わかったつもりになっているのかもしれませんが。

>> 続きは次号、4月の「明行寺新聞 vol.38」にて！



女と男のナムアマミダブツ
藤場芳子

藤場芳子師 「女(ひと)と男(ひと)のナムアマミダブツ」

1954年生まれ。真宗大谷派常讀寺副住職。解放運動推進本部「女性室」元スタッフ。同朋会館教導。真宗本廟教化教導。坊守(智美)が仏教とジェンダーについて学ばなかくご縁を賜り、ご著作から明行寺新聞のコラムに掲載している。

明行寺HP



Instagramで
お朝勤配信
(毎朝6時半～)



うたう
明行寺

公式LINE



お気軽に！